

平成 26 年度青森市子ども会議開催概要

<夏休み集中開催：観光グループ「Blue Forest」②>

- 1 日時 平成 26 年 8 月 18 日（月） 13 時 00 分～17 時 00 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 Blue Forest メンバー7 名（欠席者 4 名）
事務局 2 名

4 開催概要

この日は、青森の地産物を使用した商品開発等や商業に関する様々な活動を行っている、青森県立青森商業高等学校の「商業研究部」を訪問しました。

前回の青森県立青森工業高等学校「ねぶた部」に引き続き、夏休み期間中の訪問だったにもかかわらず、教頭先生や顧問の先生方、部員の皆さんが出迎えてくれました。

青森市の地産物等を活用し、青森市の PR に繋がる商品の開発や観光ツアーの考案のみならず、商業に関連する様々な活動を積極的に行っている「商業研究部」の顧問の先生や部員の皆さんから、まずは、実際にすでに商品化されている「ヒトナツノコイ」が商品化されるまでの経緯等を説明してもらいました。

青森市が生産量日本一にもかかわらず、青森県民の知名度が低いカシスに着目し、「青森カシス」の PR につながるようにカシスを使った商品開発に取り組んだ歴代の「商業研究部」の皆さん。

青森市内の松栄堂さんの協力の下での試作品「カシスマン」の販売、アンケート結果による改善点の把握、カシスに対する意識把握のための函館でのアンケート調査を行いながら、「カシスマン」から「カシス大福」への大幅な変更を経て、現在の「ヒトナツノコイ」が誕生したとのことでした。

まさに、その商品開発過程は一企業以上の取組であり、説明を聞いていたメンバーもただただ唖然とするばかりでした。

続いて、メンバーが訪問した約一週間後に開催予定である『観光甲子園※』本選に「商業研究部」が出展する『地域発、観光プラン』の内容を特別に見せてくれることとなりました。

コンセプトは外国人をターゲットにした冬の青森市観光プラン。部員の皆さんのナレーションとともにスクリーンに映し出される部員の皆さんが自ら足を運び撮影したという数々の市内観光名所やお店等を、メンバーは



食い入るように見ていました。

部員によるプレゼンテーションが終わり、質問の時間となりましたが、商品開発にしても観光プランの考案にしても、そのレベルの高さになかなか質問が思い浮かばないメンバーでした。

最後に、「商業研究部」の皆さんが商品開発に取り組んだ「ヒトナツノコイ」をご馳走になり、訪問を終了しました。

後日、確認したところ、8月24日（日）に行われた『観光甲子園※』本選にて青森商業高等学校「商業研究部」の作品は、見事「準グランプリ（兵庫県知事賞）」を受賞したそうです。

全国69校が出場する中での受賞、本当におめでとうございます。



夏休み中であり、また、「観光甲子園」全国大会を直前に控え、とても忙しい時期の訪問にもかかわらず、やさしく、親切にメンバーを迎えてくれた「商業研究部」の皆さん、そして先生方には本当にお世話になりました。

観光というテーマを選んだメンバーにとって、この上ない貴重な時間となり、また、とても勉強となったと思います。

訪問後、総合福祉センターに戻ったメンバーは、この日の活動内容をまとめることとしました。

「商業研究部」の訪問により、県外、市外の人たちに青森市の良さを知ってもらうためには、まず、自分たち自らが青森市の良いところを十分に知る必要があると同時に他県等の人たちが青森市をどのように思っているのかを知らなければならないと学んだメンバーでした。

以上で、観光グループ「Blue Forest」の夏休み開催はすべて終了しました。

なお、この日に終えることができなかった、「子どもの権利の日」のイベントにおいて市に対する意見表明を行う準備は、次回以降の活動時に行う予定です。

※『観光甲子園』とは、高校生自らが“地域の光”を見つけ出し、企画案を論理的にチームでまとめ、具現化した「地域観光プラン」を競い合う全国大会です。